

伊豆半島北東部の地殻変動*

—1998年10月～1999年1月—

Crustal deformation in the northeastern Izu peninsula
1998 Oct.～1999 Jan.

国土地理院
Geographical Survey Institute

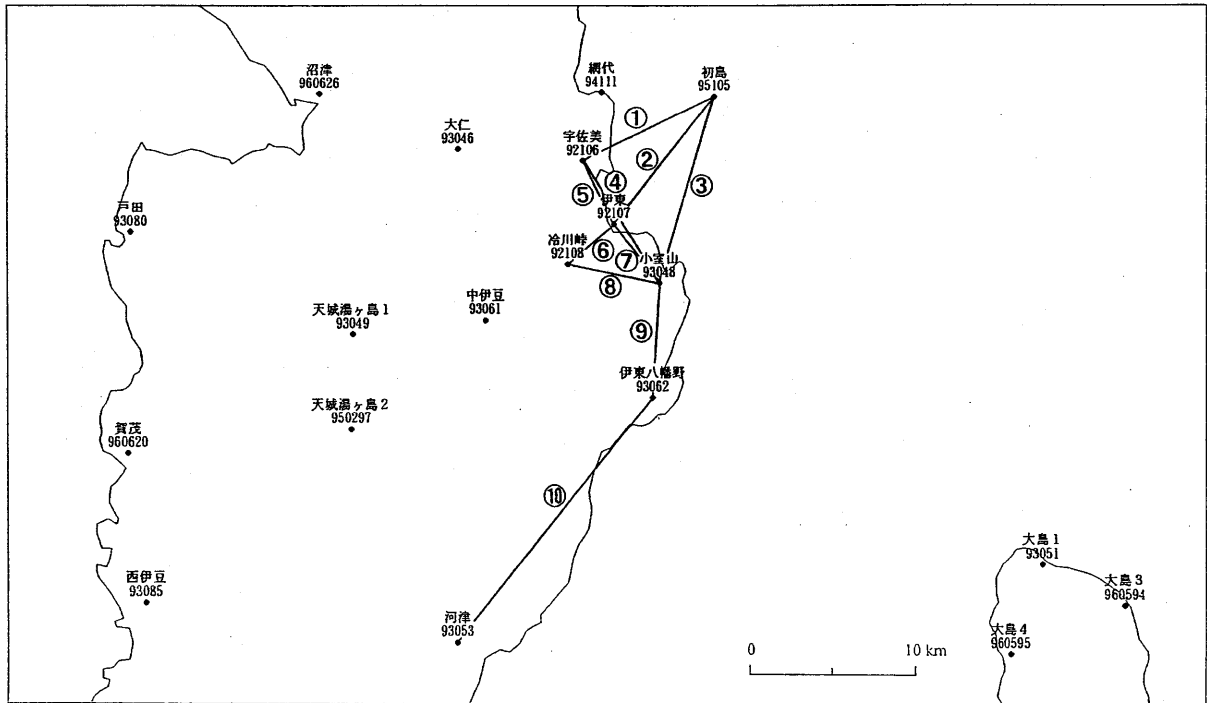
伊豆半島の地震活動はこのところ静穏であるが、地殻変動もそれに呼応して、目立った変化は起きていない。

第1-1図は伊豆半島におけるGEONETの観測局配置である。図1-2は1998年1月から1999年1月までの、伊豆半島北東部の観測点間の基線長変化の時系列である。1998年4月～5月までの群発地震活動に伴う変動以外には、顕著な変動はない。なお、10月頃に、宇佐美及び伊東に関する基線において若干の値の飛びが見られるが、これは、アンテナ保護を目的とするレドーム設置に起因するもので、地殻変動を表すものではない。

図2は、小室山-宇佐見間の光波測距儀による連続観測結果である。気温補正の過補正による見かけの変動を除き、群発活動が終了した5月以降、特に大きな変化は見られない。

図3-1から3-4は、伊豆半島の水準測量の結果である。伊豆半島東岸の路線による測量結果(図3-1)を見ると、1998年4月5月を挟む期間において伊東市周辺で4 cm程度の隆起が見られるが、その後は、顕著な変動は観測されていない。また、半島北部の路線(図3-2及び図3-3)において、目立った変動はない。

基線図



建設省国土地理院

第1-1図 伊豆半島東部のGPS連続観測配点図

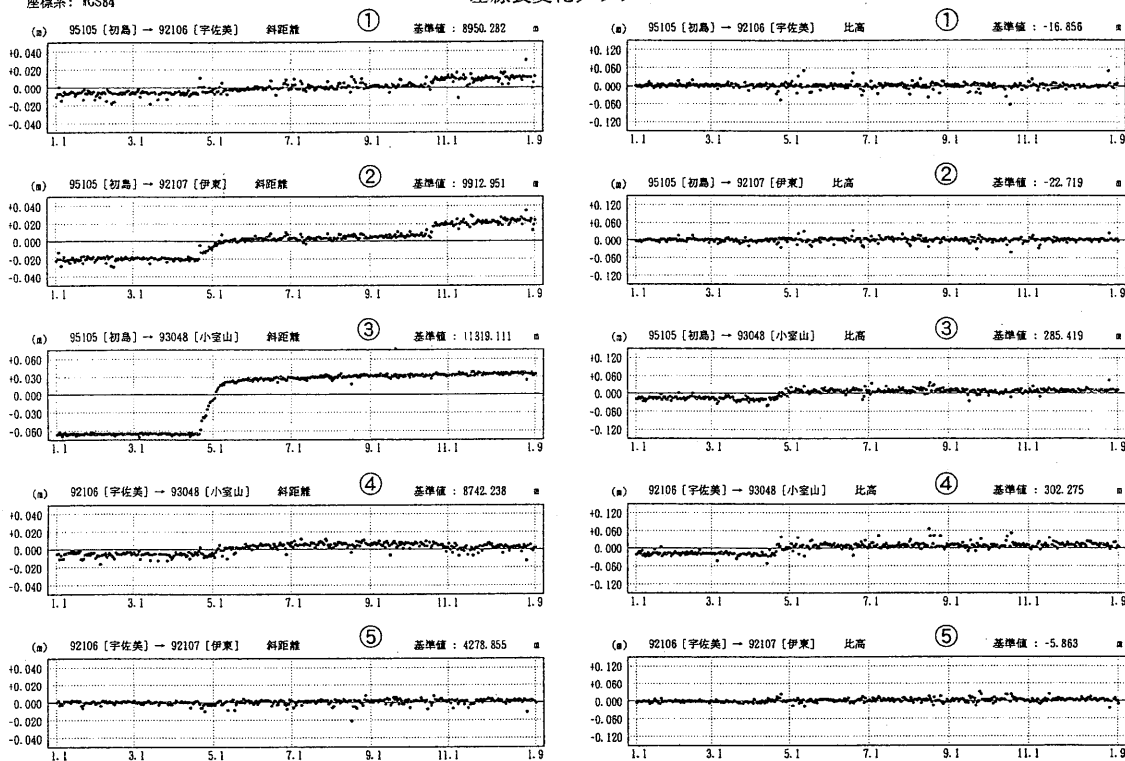
Fig. 1-1 Map showing the continuous GPS observation points in the eastern part of Izu peninsula.

* Received 16 Apr., 1999

期 間：1998年1月1日 ~ 1999年1月9日
座標系：IGSB4

基線長変化グラフ

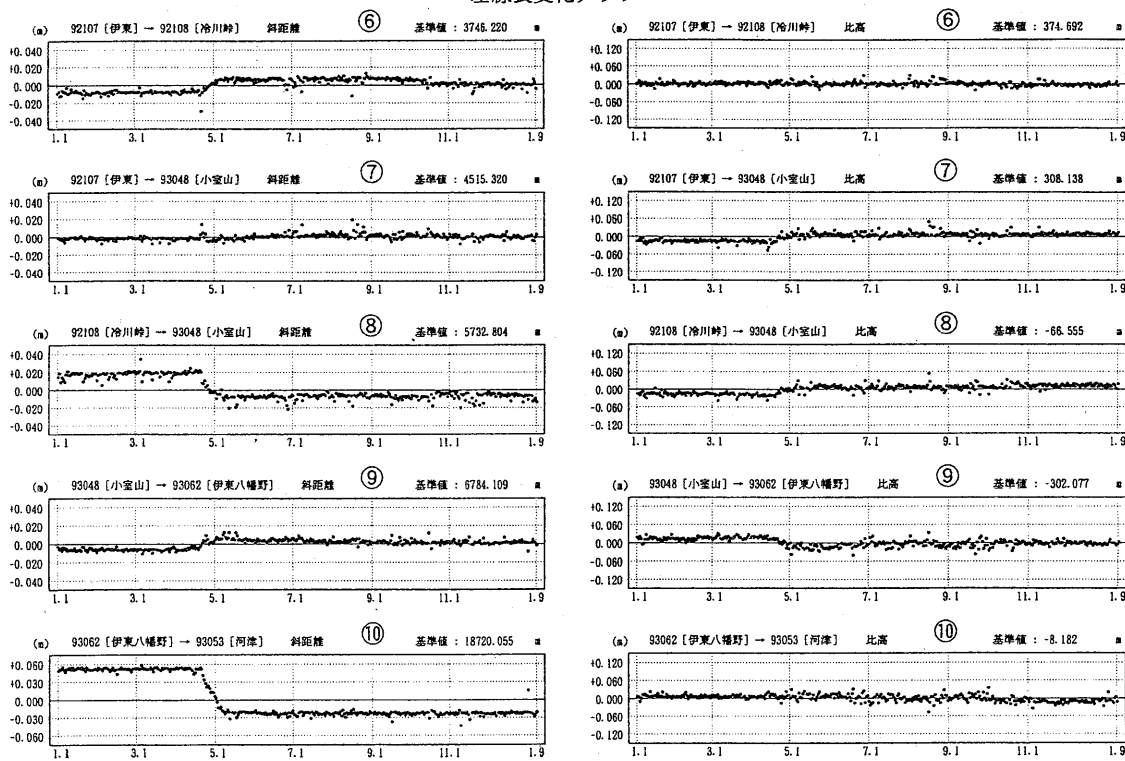
(1/2)



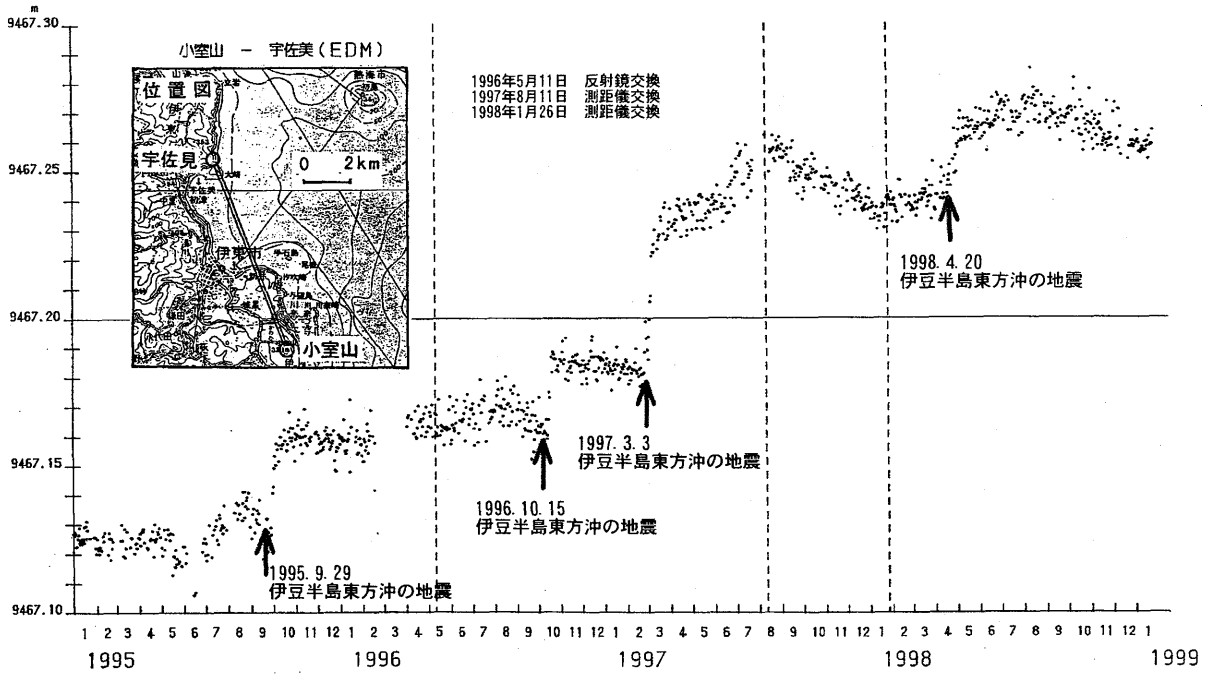
期 間：1998年1月1日 ~ 1999年1月9日

基線長変化グラフ

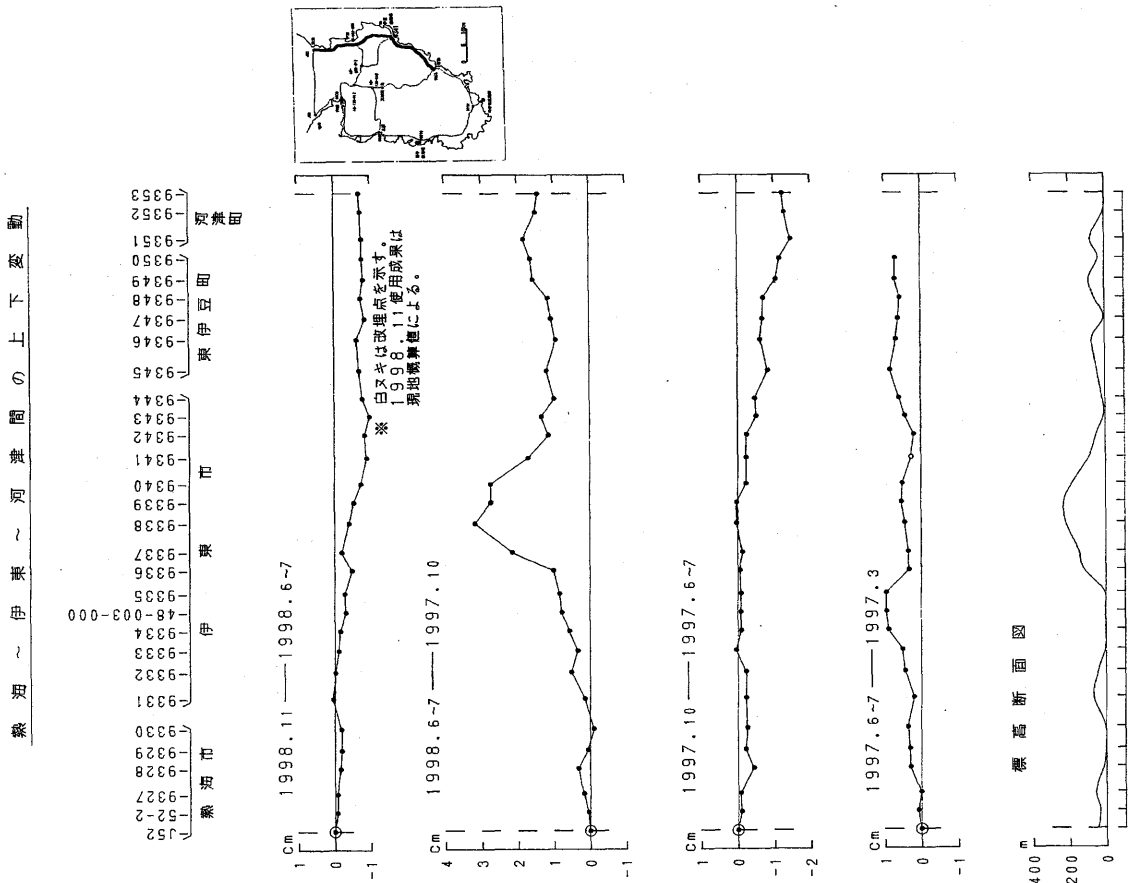
(2/2)



第 1 - 2 図 伊豆半島東部の各GPS観測点間の基線長変化 1998年1月-1999年1月
Fig. 1-2 Time Series of distance between GPS observation points in the eastern part of Izu peninsula. 1998 Jan.-1999 Jan.

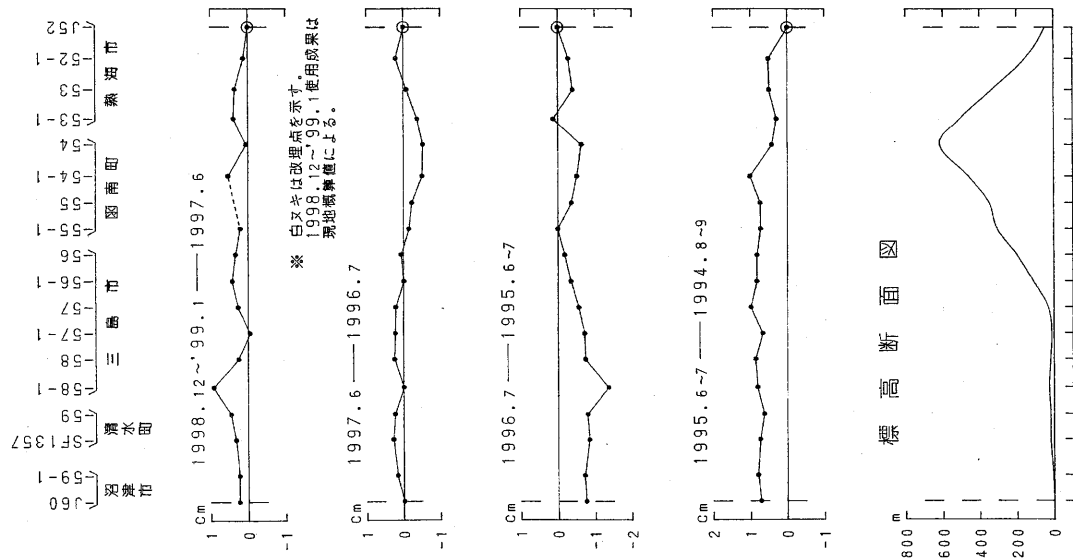


第2図 光波測距儀による宇佐美-小室山間基線長変化時系列 1995年1月~1999年1月
Fig. 2 Time Series of distance between Usami and Komuroyama during the period from Jan. 1995 to Jan. 1999.



第3-1図 伊豆半島の水準測量結果
Fig. 3-1 Results of precise leveling in the Izu peninsula.

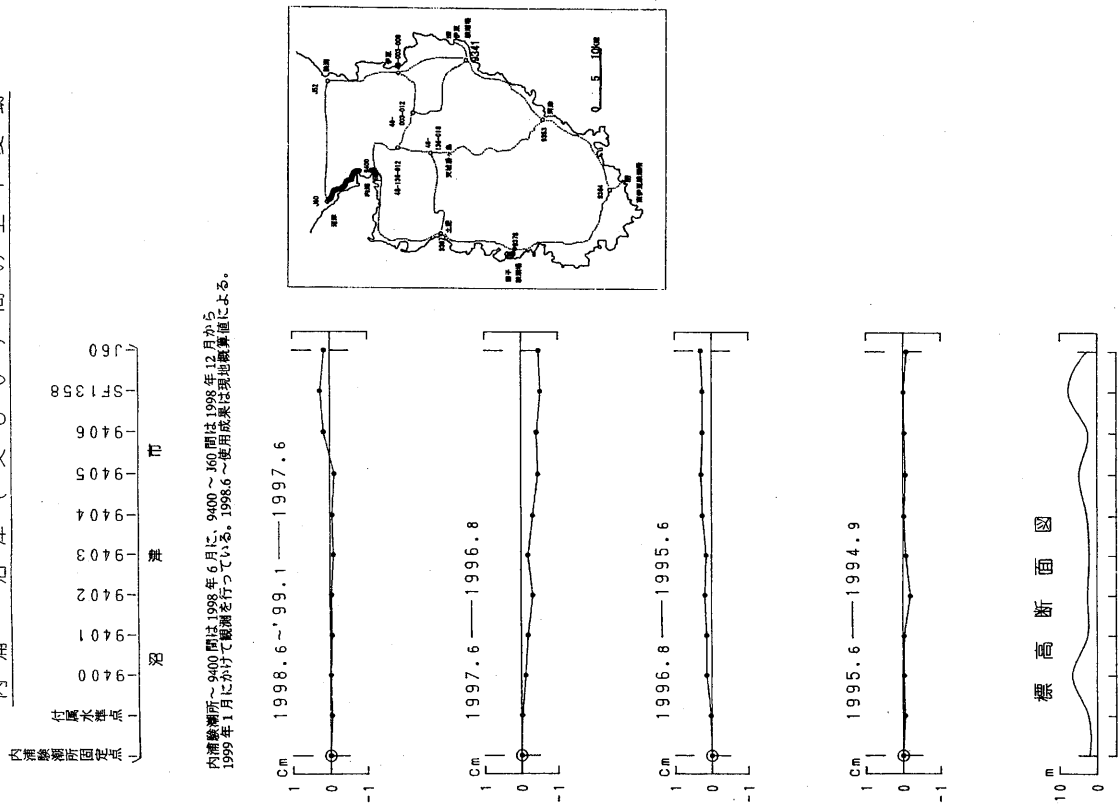
沼津～熱海間の上下変動



第3-2図 伊豆半島の水準測量結果

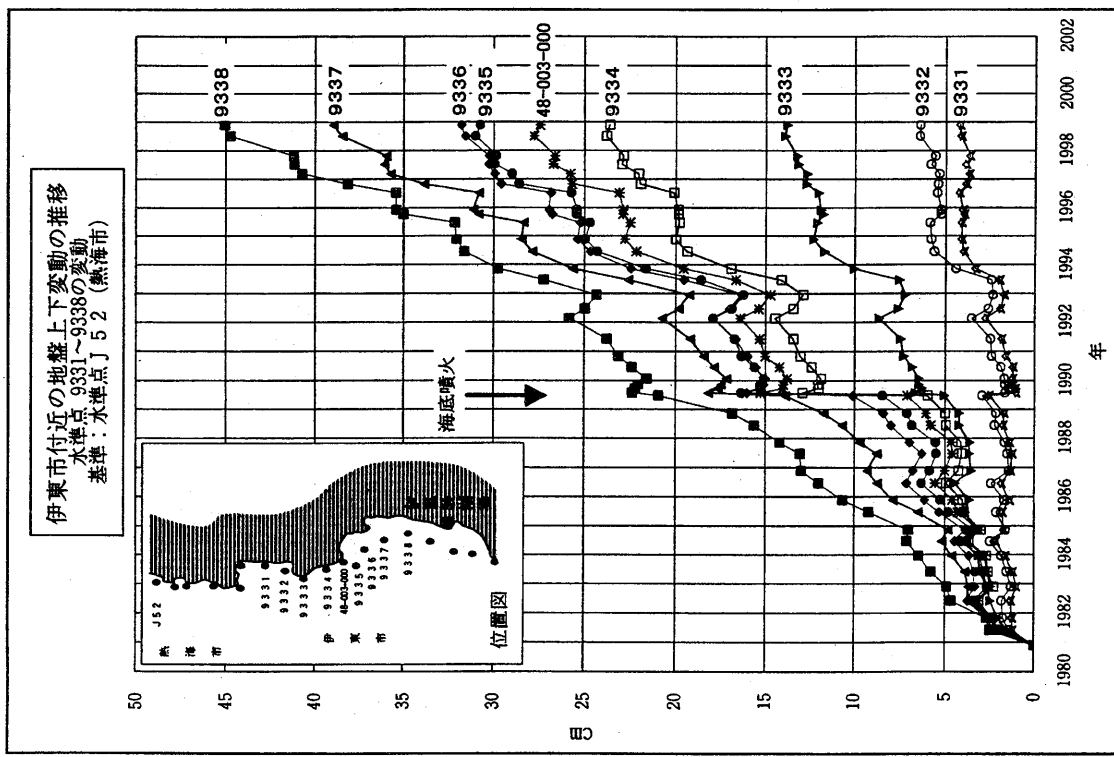
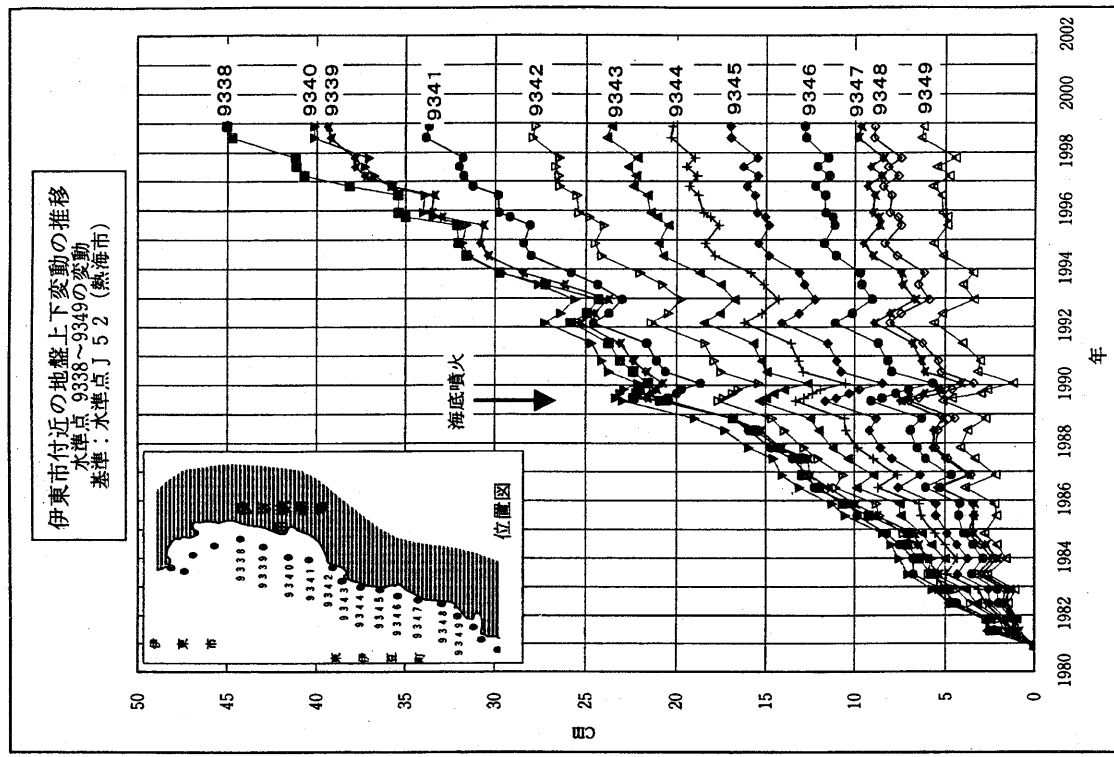
Fig. 3-2 Results of precise leveling in the Izu peninsula.

内浦～沼津(交60)間の上下変動



第3-3図 伊豆半島の水準測量結果

Fig. 3-3 Results of precise leveling in the Izu peninsula.



第3-4図 伊豆半島の水準測量結果

Fig. 3-4 Results of precise leveling in the Izu peninsula.